

#### 四、全国特別傳道教書（一九四六年（昭和二十年）九月一八日）

父と子と聖靈の聖名に由りて アアメン

神の聖名により日本聖公會主教職に召されし我ら、秋期特別傳道の開始に際し全國各教會の聖職及び信徒に書を送る。

昨年八月、長期にわたる血なまぐさき戦争を終へ、平和到來の喜びをかち得し我らは、逸早く東都に集ひて日本聖公會の新しき使命を体得し聖靈の優渥なる指導を仰ぎて再出發を致せり、更に本年夏、英、米、加姉妹教會より各代表を迎へ戦時中不幸遮断せられし世界の全アングリカンコミュニオンとの交りを新たにし、時代の風潮と時の権力の重壓にもかゝはず、我らの小さき公會を神自ら聖名の榮のために守り給ひし恩寵を語り合ひ偕に主を讚美し、與へられし幻を仰ぎて秋期特別傳道の展開を決義せり。

おもふに傳道は神の福音を自らの生活のうちに具現することによりて齎らさるゝ神の業にして「時を得るも時を得ざるも」我らの念願は正に此處に存す。

されど終戦以来、我らの公會の直面する世相は世界的に二つの事實を示せり、一は主の聖堂に出席して神を拜する者の數の減少せる事實にして、宗教的國民とせられし英國に於てすらその統計は戦前の十五パーセントに過ぎざるの状態なりとす。我國の教會に於ける現状思ひ半ばに過ぐるものあらん、第二はキリスト教道德の頹廢にして離婚の増加並に之に附随する社會道德の低下著しきものあり、我らの寒心に堪えざるところなりとす。更に國民各個の生活をおもんみる時、戦争に基づく「人情冷やかになるべし」（マタイ二十四章十二節）の預言の如く、外、愛の缺如と、内、聖徒の交りの阻害を來し如何にも「基みなやぶれたり」（詩篇十一篇三節）の叫びを想起せしむ。

如上の世界的な教會の苦惱に加へて敗戦國たる我國に於ては、或は父を失ひ、夫を獻げ、子に先立たれし者らの悲痛なる叫びと、その生活の實際は、海外引揚同胞のいたましき姿と共に、流轉の世相を暴露し、さなきだに虚脱状態にある國民の精神をして徒らに沮喪せしむるの實際なりとす。

あゝおもへば長き喧騒なる戦ひの叫び、我ら静かにエリヤの昔を想起するものあり「地震の後に火ありしが火の中にはエホバ在さゞりき、火の後に静なる細微き聲ありき」（列王上・十九章十二節）正に然り、主の恩寵によりて選ばれ残されし我ら、聖前に跪く時、主の語り給ふ細微き静なる聲は我らをして新しき幻と使命の爲、王の王、主の主にいまし給ふ主イエス・キリストの御國の榮光のため我らを起たしむ。

「田畑は色づき收穫は多し」時、正に熟せり、我らは大能の主の聖力をたのみて、この大業によりて聖名に榮あらんことを冀ふてやまざるものなり。

そもそも我らの信奉する神の福音は神よりのものにして人間の一切の叡智と努力を排撃し謙りたる心のうちに神が聖子イエス・キリストを通して我らに迫り給ひし業なり。されば我らの福音は他の一切の宗教と異なり、我らの無力、無智、汚れにもかかはらず我らの絶望と戦慄のうちに我らを補へ給ふ奇蹟を生ましむ。かくて我らの生活は神のかゝる福音を通しての恩寵に答へまつるの業にして感謝の生活はその必然的結果とす。

されば、この福音をのべ傳ふる傳道とは聖靈の力によりて主イエス・キリストを人々に仰がしむるものにして主イエスによりて神への信頼を齎らし主を自らの救主と仰ぎ、その体なる教會の交りのうちにありて主イエスを王の王としてつかへまつるの生活を招來せしむるものなり。

されば、この秋期特別傳道に際して我らの最大の關心は聖職信徒各位が主イエス・キリストによる救の再確認と、我らをすべての危ふきより救ひ給へる王の王たる主イエスに對する忠誠の覺悟をかたむるにあり。

さて我らは此の傳道の好き機に當り、その實際的な面に就きて二、三の注意を喚起せんとするものなり。第一に我らはこの際聖公會信徒の蹶起を要望して止まず。聖徒ペテロはその使徒書に信徒を神の祭司と稱へ（ペテロ前二章九節）ジエロームは四世紀に於て信徒按手式を信徒の聖なる任務への任職の式とみなせり。トマス・アクイナスまた信徒按手式に於て信徒らは聖靈によりて自らの救に必要なもののみならず、キリストの祭司職を分有し世界の救のために彼の使徒としてのはたらきをなすべく力と責任を附與せらるゝものなるを強調せり。一史家もまた初代教會の活潑なる傳道を想起し、之が原因を召されし聖職の働きに歸せず、信徒ら

の偉大なる傳道の働きによることを高唱せり。されば此の際信徒らはよろしく主による喜悅の生活を具現すると共に自ら宣教師たるべき覺悟を持たざるべからず。

次に強調せらるべきは自らの子女の教養、即ち第二世の宗教々育なりとす。教會の進展は一時的なるものにはあらずして、歴史を貫くものなり。されば一教會の振起もまた信徒各位の一代をねらふことあるべからず、必ず自らに與へられし子女らに無言のうちに根強き福音の體驗を齎らさざるべからず。之がため先づ各自の家庭をして眞にクリスチャン・ホームたるの實を擧げしむること最も切要なり。特に軍事教育並に集團疎開等によりて、いためられし子どもらの心を想ふ時、之がため聖職またよく信徒の兩親と協力し、主イエスの愛し給ふ之等第二世の宗教々育に専念せざるべからず。

次に我らは福音が時代を超越し、處の如何を問はず、永遠の真理なるを信するものなれども地上に建設せられし神の國なる限りは、その時代その處の特殊性に應ずる、特殊傳道の存するを認むるに吝さかならず。例へば荒廢に歸せる都市の傳道、多くの聖堂と牧師館を失ひし大都市のそれ、並に多くの疎開者を有する農村の傳道、之等につきては各自各々戦前の自ら把みし小さき體驗に捕へられず新しき角度より、主の聖靈の導きと、多くの教友並に信徒らの語り合ひを尊重し、神の福音傳道に慎重なる備へをなさざるべからず。

もしそれ、聖職、信徒等、おもひを此處にいたし、共に幻を眺め、特別なるこの使命を遂行せんとせば、あくまでも自己の小さき考をとびこえて神の雄大なる包容性の中に自らの視野をひろめ、又高めざるべからず。我らは再言す、傳道は神の業なり。即ち一見神と相反するが如く見ゆるこの世界を神と結合せしむるの業なりとす。されば歴史を支配したまふ神、時間と空間のもたらす特殊性をも包含して生かし給ふ神を思ふ時、我らは個々人の體驗をとびこえて、この時代この國に、而も自らの與へられし特殊の場所に有効適確に福音の傳へらるゝ備へをなさざるべからず。

かゝる意味に於て公會員のうちにおける特殊の技能を恵まれし者がこの際立上りて出版映畫等の事業による新しき方法を祈りかつ計畫することは大いに推奨さるべく、特にキリスト教文學の新興を望み、新聞、テレビジョン、ラヂオ、ドラマ等を通じて一般國民の心に福音のつたはるべき機會を捕ふるの準備また肝要なりとす。

最後に我らの記憶すべきは、傳道の根城は、あくまでも教會なることなり。されば我らは特別なるこの傳道の目的のため各教會が屢々聖餐式を執行せられんことを望む。又偕に集ひて祈禱を獻げ自らのなしうる一切の奉仕をなし、或は勞力に於て、或は金員の奉獻に於て自らの持てるものを王の王たる主に獻げまつらざるべからず。かくて我らの獻物よし五つのパンと二つの魚の如くならんとも、主は之を嘉納せられ、五千人を養ふの奇蹟を生み給ふを信ず。

願はくは全能の神、そのはかるべからざる平安を以て汝らを祝し導き、萬の物をもて萬の物に満し給ふ者の満つるところなる教會にありて榮を主に歸しまつり、聖國擴張の大理想の具現を全うせしめ給はんことを。アメン

救主降世一九四六年九月一八日

於 長野県小布施

主 教 佐々木 鎮 次

全 八 代 斌 助

全 蒔 田 誠

全 佐々木 二 郎

全 須 貝 止

全 前 川 眞 二 郎

全 大 西 狷 介

全 中 村 信 藏